

放課後子ども教室の取組について

活動報告

10～11月

「放課後の子ども（小学生）の居場所づくり」（前回会議で一部紹介）について、学校教育関係部署に説明

- ・地域との関わりの中で幅広い活動や体験ができる活動を取り入れることで、居場所の拡充にもつなげる。

12月～

モデル事業の実施に向け、数校の小学校で打ち合わせを開始
コミュニティ・スクールにおいて、下記の活動についての協力を広く依頼する方向で調整中

次年度の活動イメージ

A校の場合

- ①週一回の補充学習型の放課後子ども教室を維持
 - ②特別プログラムとして理科工作等を組み込む
 - ③既存の活動とは別に、遊びや体験活動を中心とした活動を設定
- ※③は町会、高校、大学などの協力を得て実施
1学期中に具体的な内容を詰めて2学期スタートの予定

B校の場合

- ①補充学習型の放課後子ども教室を一旦リセット
 - ②自主学習の見守りを図書室等で1学期から実施
 - ③発展的な学習プログラムを複数実施し、児童が自主的に参加
- ※③は1学期中に具体的な内容を詰める予定